

研究課題：小児期卵巣手術後の長期的な生殖アウトカム（妊娠・出産）に関する研究

1. 研究の目的

卵巣手術は卵巣予備能に影響を与え、将来の妊孕性を低下させる可能性が報告されています。小児期に卵巣手術を受けた患者の長期的な生殖アウトカム（妊娠・出産）を明らかにし、妊孕性に影響を与える因子を検討します。

本研究により得られる知見は、小児期に卵巣手術を受ける患者およびその家族への術前説明の改善、術後の妊孕性に関するカウンセリングの質の向上、および適切なフォローアップ体制の構築に貢献することが期待されます。

2. 研究の方法

2009年1月～2025年12月に当院で初回の卵巣手術を受けた患者様のうち、手術時年齢が15歳未満であり、調査時点で18歳以上の患者さんを対象にします（ただし、化学療法の既往がある患者様は除く）。

対象となる患者様の診療録から身長、体重、手術時間、合併症、手術記載、病理検査、術前・術後画像データの既存情報を用い、さらに対象者に既往歴、月経の状況、妊娠・出産の状況、不妊治療の有無についてアンケート調査を行い新たに情報を取得して検討を行います。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から2028年3月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

カルテ内容（身長、体重、手術時間、合併症、手術記載、病理検査、術前・術後画像データ）とアンケート結果。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者：外科 科長 川嶋 寛
研究分担者：外科 医員 松田 理奈

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）